

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆26年度の実質成長率は0.6%、27年度は0.8% NEEDS予測

・日本経済新聞社の経済・金融データサービス「NEEDS」の日本経済モデルに、内閣府が6月8日に公表した2026年1～3月期のGDPの2次速報値を織り込んだ予測によると、実質成長率は26年度が0.6%、27年度が0.8%の見通しとなった。1～3月期のGDPの2次速報値は、前期比0.5%増と、1次速報からわずかに下方修正。設備投資が前期比でマイナス。

◆免税輸入2億件超え、税関の負担増大 少額貨物の特例一部廃止へ

・消費税や関税のかからない少額貨物の輸入が2025年に2億件を超えた。インターネットで購入した衣類などが多い。国内市場の競争環境のゆがみや、個人輸入を装う課税逃れといった問題もあり、政府は28年から免税を一部廃止する。課税価格が1万円以下で免税となる貨物は2億900万件で前年から2割増えた。

◆預金の5割、相続で首都圏に集中 地方基盤のゆうちょは年4兆円減

・預金の首都圏への集中が進んでいる。2026年3月末時点で全体の5割を上回った。大手銀が増やす一方で、へき地に店舗網を持つゆうちょ銀行の残高は1年間で4兆円減。相続やインターネット銀行の伸長が主因。日銀統計によると、25年度末の国内銀行(ゆうちょ銀除く)の預金残高は前年同期比3.2%増の1031兆2426億円、初めて1000兆円超え。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆シンナー目詰まり解消、メーカーが直接販売 政府23日から受け付け

・政府はシンナーを工務店などの事業者がメーカーから直接購入できる仕組みの運用を始める。中東情勢の悪化によって供給が混乱するなか、工務店や一人親方などが卸売業者を介さずにシンナーを購入できるようになる。相談窓口から発注に必要なIDなどの付与を受ける。アスクルのサイトを通じて発注し、自社物流網を使ってシンナーを届ける。

◆東京23区など地下水くみ上げ規制緩和 環境省、ビル空調へ利用促す

・環境省は東京23区などの都市部で地下水のくみ上げ規制を緩和し、ビル空調での利用を促す。再生可能エネルギーの一つである地中熱を活用しやすくし、省エネや脱炭素につなげる。地盤沈下を防ぐ技術を取り入れ、環境に配慮。7月にもビル用水法の省令を改正、2027年秋の施行を予定する。井戸の深さやポンプの大きさといった基準を改める。

◆学校にも建設費高騰の影、渋谷区は工期20年→30年 仮設校舎に複数校

・東京都渋谷区は一斉に更新時期が迫る小中学校の建て替え完了時期を10年ほど延長した。建設業界の人手不足などが背景にある。建設コストを抑えるため、複数校の仮設校舎を1カ所に集約する方式を導入した。探求学習に対応した設計を採用し、学習環境の質向上も図る。

《 注目商品 》

■クリナップの洗面台、120cm以上の大間口ミラー可能

・ベッセル型の洗面化粧台「ELVITA(エルヴィータ)」をリニューアル。「自由な発想で憧れの空間を実現できる洗面化粧台」というコンセプトはそのままに、デザイン性を強化。収納付きフル1面鏡と3面鏡をラインアップ、120cm以上の大間口のミラーが可能に。



■アイカ工業 造作風洗面化粧台に3種類の新作ボウル

・造作風洗面化粧台「スマートサニタリー」シリーズに新しい洗面ボウルを追加。キャビネット収納付き「スマートサニタリー」に対応するシームアンダーデザインの深型ボウル、カラーボウルブランド「カラフィ」のベッセルボウルをラインアップ。



■三協立山・三協アルミ社、宅配ボックス付きのスリムな機能ポール

・宅配ボックス機能をプラスし、フラット基調でノイズレスなデザインへモデルチェンジした機能ポール。スリムデザインでありながら、80サイズまでの宅配物に対応可能。照明内蔵タイプは、スリット照明で機能ポールの位置を示し、夜間の視認性向上と操作補助を実現。

